



***** 大阪弁ト〜ク *****

「ノーベル平和賞惜しかった！」
「けどええ線いったやん。」
「主婦が呼びかけたと聞いたとき、うちらもすぐ署名したもんね」
「まさかノミネートされるとは思うてへんかったねえ。それも有力候補になって」
「今回、9条の存在を世界にアピールできた、これが大事なことや！」
「世界中に紛争が起こってる今こそ9条が必要や、」
「世界の宝にせなあかん」
「うちらは、憲法9条を保持する日本国民や！憲法を護る生かすためにできることはなんでもしまひょ！」
「します、します。11月2日には「変えたらアカン！平和憲法」の市民パレードします。皆さん来てくださーい！」
「署名もいっぱい集めて東京へ持っていきましょ！」

憲法交付日(前日)にみんなで歩こう！
第10回 市民パレード IN とよなか
11月2日(日) 午前11時 豊中市役所前集合。岡町北の轟公園まで歩き、簡単な集会

集团的自衛権の名のもとに、日本は再び戦争をする国へ向かおうとしています。いま「**変えたらアカン！平和憲法**」の声を大きく上げ、市民の力で、日本が戦争への道を進むのを阻止しましょう。どなたでもお気軽に、自由にご参加ください！

報告 この国はどこへ行くのか〜憲法9条を壊してはならない〜 7月26日 大阪大学会館にて

講師：小森陽一さん（東京大学大学院教授 九条の会事務局長）



猛暑に見舞われた日本列島、熱中症が心配される土曜日の午後、大阪大学で行われた9条の会の講演会には450名もの市民や学生が参加し、熱心に耳を傾けた。前回2006年に阪大で講演して以来二度目となる小森さん。第一次安倍内閣が崩壊して、少し油断があったと。その間げきを突いて再登板の第二次安倍内閣、高い支持率をバックに、憲法とともに戦後秩序までひっくり返そうと・・・。

1993年の湾岸戦争で、アメリカは多国籍軍を編成、日本にも参加を求めたが、憲法9条があるので自衛隊は出せない。そのときに初めて日本の平和憲法を世界の国が知った面もあるという。「金しか出さない日本」と叩かれて、そのことがトラウマになった翌年1994年の選挙で当選したのが安倍首相など、今の自民党首脳たち。しかし、彼らも万全ではない。改憲と護憲のせめぎあいが、政権に大きな影響を及ぼしている。第一次安倍内閣退陣には、燎原の火のように広がった数千もの9条の会の草の根の動きがあった。お腹が痛かっただけではなく、改憲反対の世論の盛り上がりがあったわけだ。今回も憲法改定ではなく、閣議決定で集团的自衛権を認めるという非常手段に及んだ背景には、日本国民の根強い平和憲法への思いがある。「平和憲法を壊すのは許さない」という国民の声を多数派にする必要がある。そのために今日から取り組もう・・・小森さんの講演は聞くものに勇気を与えてくれる。

「私は(戦争に)行かないですよ。足手まといになるだけだから。でも子どもや孫を戦争に出して、殺したり殺されたりするような国に決してしてはならない。それが今を生きる大人の責任ではないか」と。

強いようでもろいのが政治家。それぞれの地元の国会議員に、「戦争する国」にするのは許さない！との抗議を。その場合、メールよりFAXが有効だそう。メールは削除できるが、たくさんの市民がFAXを送ると・・・カタカタカタといつまでも動きが止まらない(;;) アナログの力だね！

南スーダンでPKOに参加している自衛隊、戦闘が激しくなったので撤退することに。各国の軍隊の若者たちにとって、平和憲法は憧れの的。「いいなあ〜日本は平和憲法があつて！」・・・アメリカもロシアも、どこの国の若者も戦争になんか行きたくない。戦争する国に変えるより、政治家はみな、平和憲法を世界に広めることに全力で取り組むべきだと思わないか？ (坂本 洋)



豊中市議会に意見書提出の請願を行いました →惜しくも一票差で不採択！

集团的自衛権行使容認の閣議決定がされた7月1日、豊中で活動する九条の会のネットワークが中心となり、豊中市議会へ下記の意見書提出の要請(請願)を行いました。その経緯と結果を報告します。

なお、8月8日(7月臨時総会最終日)の市議会の様子は、豊中市議会のホームページより、中継録画にて全て見る事ができます。 http://blog.zaq.ne.jp/toyonaka_shigikai/category/77/

豊中の九条の会は実行委員会を結成して、今年も5月3日に市民パレード「変えたらアカン平和憲法」、7月26日には小森陽一九条の会事務局長講演会を開催しました。この間、安倍内閣が「集团的自衛権行使容認」の閣議決定を行うことを決めたことに対し声を上げよう、豊中市議会に、集团的自衛権行使問題で請願をしようと言話がまとまりました。

豊中市議会に請願するのは初めてであり、7月2日までに請願を行わないと7月議会では取り上げられないということを知り、急遽6月28日から案文を各九条の会に諮ってもらい、7月1日の提出となりました。豊中市議会としてとにかく意見表明してほしい、ということで、どの会派でも賛成できるように「憲法解釈の変更による集团的自衛権行使容認については国民的議論を踏まえ慎重審議をされるよう豊中市議会は要望する」旨の意見書提出を国に提出するように請願する内容となりました。豊中の各九条の関連16団体連名です。

提出当日は、請願団体の有志5名で市議会各会派に請願の趣旨説明に回り、その後、7月30日に、3名で再度各会派に要請に回りました。この時公明党議員団は控え室の前で、「あなたたちは、閣議決定を読んでいますか！」と声高に言われました。小森陽一講演会のレジメパンフを渡して「当然知っています。ここにも載せています」と応えて慎重審議の意見書提出をお願いしました。

8月5日に、この請願について総務常務委員会が開かれ、九条の会のメンバー約10人がモニター傍聴。ここで各議員がそれぞれ意見を表明し、採決の結果4：4の同数となり自民党委員長決裁で、委員会では不採択となりました。

本会議でさらに論議が続くため、再々度会派要請に回り、8月8日の本会議には多数の傍聴者が駆けつけました。

そうした中で採決の結果、17:18で不採択となりました。(請願に賛成、共産党6、市民クラブ4、未来とよなか3、新政とよなかのうち2、無所属2計17、請願に反対、公明党8、自民新風会5、新政とよなかのうち3、無所属2計18)

豊中市議会では僅差の請願不採択は初めてではないか、各会派がよく議論し、ある会派では激論が交わされ廊下に聞こえていた、九条の会のロビー活動のおかげで各会派が請願をおろそかにはしなかった・・・などの声が後日漏れてきました。

結果として、議会としての意見書提出はされませんでした。本会議での浅利豊中市長答弁は、「憲法を基礎に平和と繁栄を享受してきたと認識している。(中略)この問題は国民生活の根幹に関わる事柄であり、広範な論議が必要、今後国民への説明責任が十分に果たされるとともに、より慎重な国会審議が行われ、平和国家と憲法の理念が貫かれることを期待している」と答弁しました。(私達の請願内容と同趣旨)

それにしても「慎重審議」にさえ反対するとは、先恐ろしいことです！

九条の会の中では、よく頑張った、議員の発言を聞いてさらに勉強が必要、市民の声をもっと大きくしなければ、九条の会の出番だなどの声が出され、いっそう憲法守れの運動を強めることを確認しました。

私たち市民の声を直接議員にぶつける行動も大切だと実感しました。

(九条の会・豊中 斎藤須美雄)

<市議会傍聴レポート>

無風の豊中市議会、市民の請願で珍しく緊迫・・・結果は？ (坂本 洋)

「安倍政権が閣議決定した憲法解釈の変更について、国会で慎重な審議をするよう、豊中市議会として要望して欲しい」と、豊中の9条の会有志が直前まで精力的にロビー活動を展開し、ギリギリ可決の可能性も？ という情勢の中、8月8日、私も久しぶりに傍聴に駆けつけた。

豊中市議会の会派を見ると、定数36名、議長(公明党)は採決に加わらないため、35名の過半数18名の賛成が必要になる。満員の傍聴席をバックに、採決の前の意見表明が行われた。

まず公明党の片岡潤子議員は、「閣議決定は立憲主義に反しない。慎重審議は当然のこと、敢えて請願を行う必要はない」と、中央の指令通りの見解を力んで表明。共産党の出口文子議員は、反対の立場から、密室協議で拙速に閣議決定を行い、戦争できる国にしようとするのは絶対に許せない。各種世論調査でも多くの国民は説明不十分と思っている・・・と。自民党の中井源樹議員は、わが国を取り巻く安全保障環境の変化に対応するために、国際協調の下、集团的自衛権の行使容認が必要。平和国家は変わらない・・・安倍政権の広報になりきっていた。

若い上位当選議員3人による「未来とよなか」は、国政に関する問題は自主判断・・・今回は慎重審議を求めるという穏当な内容なので賛成、と。労組出身議員が多い「市民クラブ」は、さすがに4人全員が賛成。

続いて熊野以素議員(無所属・市民派)が登場。大学院の法学部で学んだ専門家として、理路整然と以下の賛成表明を行った。

「憲法は国の形を決め、国家の暴走を縛るための国の最高法規。これを変えるには国民投票か解散総選挙を行わなければならない。仮に次の内閣が再び閣議決定で変えてもいいのか？ 国家の基本原則としての自衛権は全ての国が持つ普遍原理だが、集团的自衛権は国際法上の権利に過ぎない。同盟国アメリカからの要請を実際には断れないにもかかわらず、安倍首相は二枚舌を使っている。各種世論調査でも国民の大多数が説明不足と感じている。いま、多くの国民の声を中央政府に届けるのが地方議員の役割ではないか！ 戦後生まれだが、朝鮮戦争もベトナム戦争も、湾岸戦争、9.11、アフガン戦争、イラク戦争・・・全て知っている。武力は何の解決ももたらさなかった。69年間続けてきた平和国家日本・・・万が一にも他国に戦争する国にしてはならない！」

傍聴席は大きな拍手で埋め尽くされた。

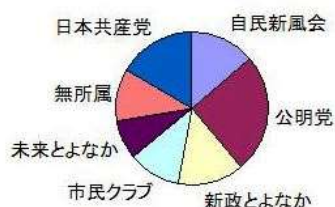
続いて木村真議員(無所属・市民派)も、自民・公明政権は十分な議論と説明を尽くしたとしているが、ほとんどの国民はそうは思っていない。この請願は、慎重な審議を求めるという内容。せめてこれぐらいは全会一致で通して欲しい。反対する理由が分からない・・・と。

自民・公明は当然反対に回るので13、無所属の上垣議員、新政とよなかのうち、中蔵・福岡・大田議員が反対・・・この時点で17対17で賛否同数。無所属の松岡信道議員の意見に注目が集まった。松岡議員によると、これから関連法案の国会審議もあり、最高裁の違憲立法審査権もある。立憲主義は機能しているので、請願の必要はないと、意味不明なツブヤキの後に反対。傍聴席からどよめきが・・・

採決の結果、17対18で不採択・・・市民、特に女性たちの献身的な活動にも関わらず、このようにハードルを下げた請願にも背を向ける豊中市議会。木村議員に対する、K議員(自民)による「ボケ！」という暴言も合わせて、ひどいのは都議会や兵庫県議会だけではない。

それにつけても、36名のうち公明党が9名。議会の1/4が公明党なんて、ほとんどの市民は知らないだろうけど・・・恐ろしいことだ。これも投票率の低さが要因。「安定は絶望！」だよな(>_<) こんな議会は変えなくちゃ！

豊中市議会の構成



8・8本会議 暴言事件

8月8日の本会議で、木村真議員に対して自民党のK議員が「ボケ！」とヤジを飛ばしました。この日は多くの市民が傍聴し目撃したためか、本会議後木村議員に謝罪したということです。後日、正式に抗議した傍聴者有志に対して自民党議員団全員で正式に謝罪しました。国会でも議員のモラルが問題になっていますが、やはり「有権者の目」は大事ですね。



「騒ぎは冷静に見てみよう」

朝日新聞の日本軍「慰安婦」問題報道の自己点検以降、あちこちで鬼の首を取ったように騒ぎ立てているが、こんな時こそ、「戦後、この社会がめざしてきたものは何だったのか」と冷静に再考すれば、この騒ぎの問題点、デタラメさが見えてくると思う。

植民地の人々も巻き込み、「一億玉砕」と戦争協力が強制されていた時代から、戦後、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義を原則とする憲法を持つ民主主義の国へと歩んできたのではなかったか。

安倍首相は朝日新聞に対して、「誤報によって多くの人が苦しみ、国際社会で日本の、日本人の名誉が傷つけられた」と言うが、“日本”“日本人”と一括りにされると気持ち悪い。「私は違う！」と言いたくなる。それが認められるのが人権の尊重だ。しかし、昨今は、一度ターゲットにされたら自殺する人も出るほど、ヘイト・スピーチが野放しになっている。自分の意見を言うのが怖いという状況がある。

安倍首相は、今年の10月3日に国会で、「政府は吉田証言は信用できないと判断して、(1993年の)河野談話に反映しなかった」と認めている。吉田証言がなくても、日本軍「慰安婦」の実態がいかに強制的なものであったかを河野談話は認めている。朝日新聞自身が今、なぜあの誤報を大きく取り扱っているのかは不明だが、河野談話継承を表明している安倍首相は「『慰安婦』問題は朝日新聞が作ったというのは誤報だ」と言って、騒ぎの沈静化を図らなければいけないと思う。そして、「日本軍『慰安婦』問題を明らかにしたのは被害者自身だ。被害者が勇気を振りしぼって日本政府を告発し、裁判を闘って事実認定も勝ち取った。だから、この問題が明らかになった」と発言すべきではないか。

安倍首相がヘイト・スピーチのみならず、「慰安婦」問題のウソも放置し続けるなら、その裏には、戦後めざしてきたものを根こそぎ壊そうとする意志が見えると言われても仕方ないと思う。(紅葉)



INFORMATION お知らせ

九条の会・おおさか 11.21集会
大江健三郎さん「私と九条」を語る
日時:11月21日(金)18:30 開会
場所:エル・おおさか 大ホール
(天満橋)
参加費:1000円

大阪府内の九条の会からのアピール
タイムには、いちばん星も登壇します。
応援よろしくお願ひします！
問合せ:九条の会・おおさか
TEL 06-6365-9005

署名活動にご協力ください！

11月2日の市民パレードのチラシの裏面は、九条の会が全国で取り組んでいる集団的自衛権行使反対の署名用紙です。ご家族やお知り合いにも声をかけていただき、パレード当日にお持ちください。

郵送の場合は、11月20日(木)までに、いちばん星あてにお送りください。(FAXは不可です)
豊中全体で集約し、11月24日の全国集会に持っていきます。

☆カンパのお願い☆

いつもいちばん星の活動を応援していただき、ありがとうございます。皆さまからお寄せいただいた寄付金は、通信やチラシの作成・発送費、パレードなどのイベントの経費として大切に使用させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

<送金先> ゆうちょ銀行
口座番号:00980-4-116244
加入者名:九条の会・豊中いちばん星

みのおピースフェスタ2014
アーサー・ビナードさんが語る「物は言いよう、平和も言いよう」
日時:11月1日(土)午後2時~4時(開場 1時半)
会場:箕面文化・交流センター 8階大会議室
(阪急箕面駅前サンプラザ1号館)
参加費:500円(高校生以下無料)
言葉のエキスパート、ビナードさんのお話は、とてもわかりやすく面白いと評判です。いちばん星も実行委員として参加し、「9条カフェ」を開きます。美味しいコーヒーもお楽しみに♪
問合せ・申込み:ピースフェスタ実行委員会 TEL 072-729-9326

明るく元気に怒りたい人、いちばん星へ！

九条の会・豊中いちばん星

連絡先 FAX: 06-6849-0251

Eメール: toyonakaichibanboshi@live.jp
〒560-0021 大阪府豊中市本町 1-1-1
市民活動情報サロン気付

URL: <http://9jo-ichibanboshi.jimdo.com/>